

## 日本神話：火の神の斬首

妻の死に打ちひしがれて泣いていたイザナギの涙から、もう 1 柱の神、湧水の女神が生まれました。イザナミを葬ったイザナギは、悲劇の原因となった火の神・カグツチの方を向きます。怒りに駆られたイザナギは剣を抜き、一振りでカグツチの首をはねました。刃から地面に滴り落ちた血から新たに 8 柱の神が生まれ、さらに致命傷を負ったカグツチの体からも 8 柱の神が生まれました。これらは岩の神、剣の神、雷の神、炎の神、滝の神、谷の神であり、その出現はこの世界が牧歌的な国からより複雑で危険な場所へと進化していく様を象徴しています。